

開館時間：9時30分ー17時（最終入館は閉館の30分前まで）※9月22日（火・祝）、11月20日（金）は20時まで開館します。

SHIKO MUNAKATA

苫小牧市美術博物館

2026
9月19日
11月23日
【土】 【祝】

北方への祈り

棟方志功

曜館
月休

—PRAYERS FOR THE NORTH

※ただし、
月曜祝日の場合は
開館し、翌平日は休館



《華狩頌》1954 棟方志功記念館寄託（青森市）

こころの中に美が祭られる

観覧料：一般600（500）円、高大生400（300）円、中学生以下無料 ●前売り券は8月19日から販売開始（販売場所：苫小牧市美術博物館）
※（内の料金は10名以上の団体及び前売り券の料金です。※特別展観覧料で併せて常設展中庭展示もご覧いただけます。※年間観覧券による観覧料の割引があります。※観覧料の免除等についてはお問い合わせください。※11月3日「文化の日」は、無料観覧日

【主催】苫小牧市美術博物館 【協力】青森県立美術館、青森県立郷土館、一般財団法人棟方志功記念館、株式会社毎日映画社、八戸市美術館、室蘭市港の文学館 【後援】苫小牧商工会議所、苫小牧信用金庫、苫小牧民報社、北海道新聞社

北国が生んだ巨匠。棟方志功の創造の世界。

生涯にわたり独自の版画(自作木版画の呼称)芸術を築き上げ、今もなお「世界のムナカタ」として広く知られる棟方志功(1903~1975)。



①

出自である青森を深く愛したことで知られ、土着の画家としての印象が強い棟方ですが、生涯の大半は郷里から離れて創作活動に取り組んでおり、郷土をテーマにした



②

創作が本格化するの、世界的な版画家としての名声を確立した1960年代以降となります。「北国」が生んだ巨匠・棟方志功の芸術における「北方性」に着目する本展では、自らのルーツである青森を題材とする作品をはじめ、「縄文」やアイヌの儀礼に想を得た作品、さらには棟方芸術の到達点ともいえる神仏像を、3部構成で展観することで、北方に対する望郷や慈愛の念、そして郷里の発展に対する祈りにも似たまなざしに焦点を当てます。



⑫

⑬

みどころ1

三つの視点でたどる、棟方志功とその北方性

本展では、棟方志功の芸術を「起源／原風景としての青森」「縄文と模様化された身体」「結晶化する祈りと信仰心」の3章でたどります。故郷青森



③

をテーマとする作品を中心に紹介することで、作品の背景にある北方の精神と創作の源泉を多角的にご覧いただきます。



⑤



④



⑥



⑦



⑨



⑭



⑩



⑪

みどころ2

創造の源泉と、北へのまなざし

青森ゆかりの民俗資料や棟方が名付けた考古資料「風韻堂コレクション」などに加え、北海道との接点も紹介。作品の奥に息づく原風景や祈り、創造の源泉をたどり、北の風土が育んだ棟方芸術の一面を紹介します。



⑮



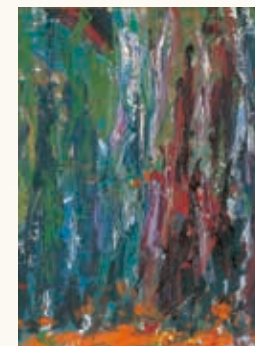
⑯



⑰



⑱



⑲



⑧

① 《門世の櫓》1968(1970摺)棟方志功記念館 / ② 《道標の櫓》1963/1964改刻(1964摺)棟方志功記念館 / ③ 《龍鯉》1968 棟方志功記念館寄託 / ④ 《青森山之神図》1974 青森県立美術館 / ⑤ 《青森の子紋 大皿》1953 青森県立美術館 / ⑥ 《八甲田山麓図》1924 青森県立美術館 / ⑦ 《御吉祥大辨財天御妃尊像図》1966 青森県立美術館 / ⑧ 《二菩薩釈迦十大弟子》1939/1948改刻(1957摺)棟方志功記念館 / ⑨ 《八甲田山の櫓》1971 棟方志功記念館 / ⑩ 香炉形土器(風韻堂コレクション) 縄文後期 青森県立郷土館 / ⑪ 壺形土器(風韻堂

コレクション) 縄文晩期 青森県立郷土館 / ⑫ 《絵付けこけし(こけし部分:盛秀太郎作)》1957頃 棟方志功記念館 / ⑬ 盛秀太郎《こけし》昭和時代 青森県立郷土館 / ⑭ 《風韻堂》1967 青森県立郷土館 / ⑮ オシラサマ 青森県立郷土館 / ⑯ 御幣 青森県立郷土館 / ⑰ 《青森風絵(曾我五郎「五郎幕上げ」)》1971 棟方志功記念館 / ⑱ 《北海道大学構内並木図 A》1974 棟方志功記念館 / ⑲ 《北海道大学構内並木図 B》1974 棟方志功記念館

⑩,⑪,⑬,⑮,⑯は参考資料(棟方志功の作品ではありません)。



20



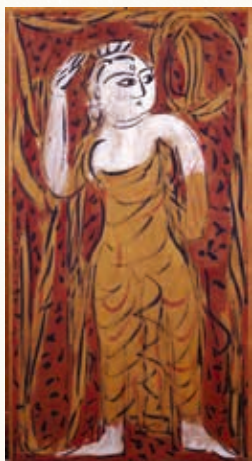
21



22



23



24



25



26



27

20 《雪国風景図》1924 青森県立美術館 / 21 《歡喜自画像・第九としての柵》1963(1974摺) 棟方志功記念館 / 22 《あおりは柵》1970 棟方志功記念館 / 23 《津軽海峡の柵》1965 棟方志功記念館 / 24 《御三尊像図》1950 青森県立美術館 / 25 《恐山の柵》1963(1964摺) 棟方志功記念館

関連イベント ※ イベントの最新情報及び詳細については、当館公式HP、SNS等でお知らせします。

棟方志功記念館学芸員による講演会 事前申込制

9月19日(土)11:00～12:00

場所: 当館研修室

講師: 竹浪彩矢子氏(一般財団法人棟方志功記念館 学芸員)

定員: 50名(参加無料)

申込: 電話(0144-35-2550)、HP ※申込受付: 9/1(火)9:30～

夜の上映会『彫る～棟方志功の世界』 申込不要

夜間開館(20時まで開館)に併せて棟方の

創作活動を紹介するドキュメンタリーを上映します。

9月22日(火・祝)、11月20日(金) いずれも18:00～18:40

協力: (株)毎日映画社

場所: 当館研修室

定員: 50名(参加無料)

ギャラリートーク+裏彩色体験 事前申込制

展示解説を聞いたあとに、

棟方志功が版画制作に用いた「裏彩色」^{*}を体験

10月10日(土)14:00～15:30

場所: 当館企画展示室、研修室

定員: 20名

申込: 電話(0144-35-2550)、※申込受付: 9/10(木)9:30～

参加料: 無料(ただし、当日有効の観覧券が必要)

※裏彩色: 作品の裏面から色を塗る技法

担当学芸員によるギャラリートーク 申込不要

10月31日(土)11:00～11:30、13:30～14:00

場所: 当館企画展示室

参加料: 無料(ただし、当日有効の観覧券が必要)

物販情報(美術館友の会) 日曜・祝日限定で、関連グッズの販売ブースを設けます。 販売時間: 10:00～16:00

同時期開催 中庭展示Vol.22 森迫暁夫「もしかして縄文人」 会期: 2026年4月18日(土)～11月23日(月・祝)



〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号 TEL 0144-35-2550 FAX 0144-34-0408

【自家用車】国道276号(支笏湖通)と国道36号の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」かど)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。最寄りのICに「苫小牧中央IC」があります。
 【バス】苫小牧駅南口より、のりば①から「21番」「24番」「25番」、のりば②から「04番」、のりば③から「08番」「12番」、苫小牧駅北口より、乗り場①から「06番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車(所要時間約10分)
 ※下車後徒歩約5分
 【駐車場】出光カルチャーパーク内に駐車場(料金無料、約50台駐車可)
 【タクシー】JR苫小牧駅から約10分 【徒歩】JR苫小牧駅から約25分

苫小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum [愛称: あみゅー]

Facebook: <http://www.facebook.com/tomakomai.museum>

X: @tomakomai_amyu

HP: <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>

HP

